

地域貢献できる仕事と実感

マツモトキヨシ新松戸店 赤坂志津さん

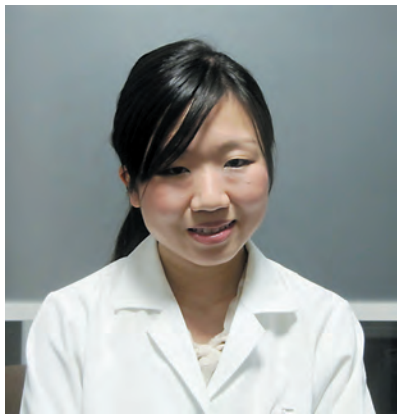
マツモトキヨシに勤める赤坂志津さんは、現在、新松戸店において調剤業務およびOTC販売などを担当している薬剤師だ。2011年3月に東京理科大学大学院を卒業し、同年4月に入社。現在、3年目に入っている。

赤坂さんは大学院に進学した後、研究職や開発職を目指していたが、薬学部卒業時に薬剤師免許を取得しており、大学院時代の2年間、アルバイトとしてドラッグストアに勤務した。

ここで接客という仕事を経験した赤坂さんだが、「大学院では様々な情報を用いた創薬というものを学んでいたのですが、お客様との情報のやり取りを通して、情報を伝える方法にもい

ろなやり方があるのだと知りました。自分が学んでいることをドラッグストアで生かせるのではないかと思います」と、同社への入社を志望した動機を語る。

同社に入社してからは調剤専門店、調剤併設店での勤務を経て、現在は新松戸店で調剤業務やOTC販売業務を担当し、「ドラッグストアとは思った以上に地域のお客様、患者様に必要とされ、貢献できる仕事だと感じています」とする。また、同社が導入している“ブラザーシスター”制度のもと、入社1～3年目の社員を指導する指導係も務めている。「ブラザーシスターでは2～3人を担当するのですが、それ



ぞれ性格もスキルも違うので、各人に合った指導を行っています。1年間、定期的に面談を行ったりして付き合っていくのですが、皆さんの成長を目の当たりにすると、自分の指導したことが実を結んだのだと嬉しくなります」と笑顔を見せる。

仕事や職場を選ぶ際のポイントとしては、「私は情報のやり取りが好きで、それを研究してきたこともあり、自分が取り組んできたこと、取り組んでい

自身をどう生かすかが大切

きたいことを、仕事にどう生かしていけるか、どう生かしたいかという観点で仕事を選びました。そうしないと、今後10年、20年と仕事をしていく中で、自分自身をどう生かしていくのかを見失ってしまう気がします。自分をどう生かしていくのかという思いは大切にしてもらいたいです」と語る。

その上で、「就職するにしても、大学院に進学するにしても、最終的に選ぶのは自分自身です。周りがどう思うかよりも、自分をどう生かしていきたいのか、

何に取り組んでいきたいのかといったものを持って、進路を選んでほしいと思います」とエールを送る。

チーム医療担う一員として

キリン堂薬局醍醐店 的場俊哉さん

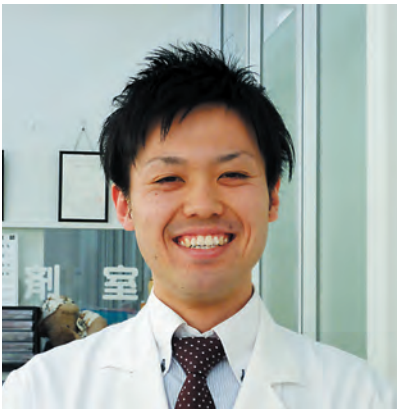
『患者さんが、医師の指示よりも短い間隔で薬を服用してしまった。どう対処すればいいか?』。京都市伏見区の住宅街に立地する「キリン堂薬局醍醐店」に勤務する的場さんの携帯電話には、介護施設関係者からそうした問い合わせの連絡が頻繁に入る。関西地区を中心に300店舗以上を有するドラッグストアチェーンのキリン堂が展開する在宅業務も行う調剤併設型のドラッグストアの中で、最も多い在宅件数を抱える同店舗での日常の光景である。

的場さんは、2012年3月に大阪薬科大学を卒業後、同年4月にキリン堂に入社。大病院の門前薬局を経て、現在、同店で薬局長兼管理薬剤師を務める。ドラッグストア店舗併設の薬局で処方箋調剤も手がけながら、チーム医療の一員として多職種と連携した在宅医療にも取り組んでいる。「多いとき

は週4回、医師と同行し、処方設計に役立てるような薬剤情報提供のほか、患者さんの薬学的管理も施設の看護師と連携して行っています」と業務内容について話す。

高校時代、同居している祖母が在宅医療を受ける際に、医師の往診に同行していた薬剤師の姿を見て在宅医療に携わる薬剤師になりたいと思い、薬学部を志したとする的場さん。時を同じくして、薬学6年制教育がスタート。その第1期生として薬学の勉強に勤しんだ。卒業後の進路では「第一に、薬剤師として在宅医療に携わりたいという意識があった」という。入社前にキリン堂が介護つき有料老人ホームなどでの在宅医療への取り組みを開始していることを知り、決断した。

さらに自身も、人との会話を通じたコミュニケーションが好きで、処方箋調剤だけでなくOTC、健康食品、化



粧品、日用品など商材を取り揃えるドラッグストアは、様々な場面でそうした機会があると考えた。キリン堂が目標に掲げる『地域コミュニティの中核となるドラッグストアチェーン』の確立に向けた医療提供施設として、健康支援のための食事や運動療法など、生活習慣改善のアドバイスなど幅広い意味で、ドラッグストアはジェネラリストとしての薬剤師の専門性の発揮が可能な業界という認識も強まった。

「多くの生活者が来店するドラッグストアでは、今の悩みの症状に適切なアドバイスをを行い、OTCで対応できない症状と判断した際には、受診勧奨を行うことも薬剤師の大事な仕事にな

ジェネラリストで専門性を

ります」と的場さん。ドラッグストア企業を志望する薬学生に向けては「現場に出てから学ぶことはたくさんありますが、長期実務実習前に勉強する患者対応やコミュニケーションの内容は、本当にしっかり勉強したほうがいいと思います。現場では、お客さんとの話の中で、本当に必要なものを自分のコミュニケーション能力の中で、引き出してあげることも必要になると思います」とアドバイス。また、就職活動に際しては「自分が将来どういう薬剤師になりたいか、薬剤師としてどういう職能を発揮したいかという目標やビジョンをしっかり持つことが大事だと思います。企業から選んでいくことも重要ですが、まずは、自分がなぜ薬学部を選び、薬剤師になろうと考えたのかという原点を振り返り、将来像をイメージすることで、芯がブレないで就職活動に臨めるのではない

でしょうか」とエールを送る。



- ◆ 私たちはITを駆使して、臨床開発業務の「Speed」「Quality」「Safety」「Value」に貢献します。
- ◆ フルサービスが提供できる真の「総合CRO」です。

企業概要

- 設立 / 2003年7月1日
- 資本金 / 1億円
- 代表者 / 加藤 浩一
- 売上高 / 39億6500万円 (2012年度)
- 従業員数 / 495名 (2013年4月1日現在)
- 事業内容 / 臨床開発モニタリング、医療機器開発支援、データマネジメント・統計解析、臨床システム、製造販売後調査、安全性情報管理、薬事コンサルティング、グローバル開発支援
- 事業所 / 東京本社、大阪

待遇と勤務

- 初任給 / 大卒 211,000円、修士 231,000円
※2013年度実績
- 諸手当 / 通勤手当、時間外手当、出張手当
- 昇給 / 年1回
- 賞与 / 年2回
- 勤務時間 / 9:00～17:15 ※フレックス制度有
- 福利厚生 / 社会保険完備、退職金制度、健康診断
会員制福利厚生施設

お問い合わせ先

- 採用研修室 (recruit@acronet.jp)

日本CRO協会正会員 伊藤忠商事グループ企業

株式会社ACRONET

<http://www.acronet.jp>

本 社 〒112-0002 東京都文京区小石川1-4-1 住友不動産後楽園ビル
TEL:03-3830-1122(代表) FAX:03-3830-1155

大阪事業所 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-3-13 第三富士ビル
TEL:06-4391-4373(代表) FAX:06-6533-0316